

平成20年6月定例会



平成20年第3回定例会は、6月10日から24日までの会期15日間で開かれました。

国民健康保険条例の一部改正案についてなど15議案が提出され、決議案1件および意見書案2件とともに、いずれも原案どおり可決しました。

また、教育委員会の委員の任命など4件の人事案件に同意しました。

なお、請願4件はいずれも継続審査となりました。

定例会では、各会派の議員など7人が議案や市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

答 重要な課題を克服していくには、総合的な判断力と強いリーダー

問 市長は、この4年間の総括とともに、今後の課題を克服するためにとづかれるのか、市政の発展に向けた方向性、取り組みなど、2期目に向けた決意とその思いは。

市長の政治姿勢―市政発展の方向性― (水曜会)

質問および答弁(要旨)

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のまちづくり宣言」に関する決議(要旨)

福山市議会は、一人ひとりが健康で生き生きと働き続けることができ、安心して妊娠・出産、育児や介護などの家庭生活を充実させ、自らの職業能力開発を図り、地域活動にも参加できる「ワーク・ライフ・バランス」社会を目指し、その実現に向けて取り組むことを宣言しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

問 駅前機能は交通の結節点としての利便性であり、高

市長の政治姿勢―継続する課題への対応― (明政会)

ダークシップが必要であり、何よりもふるさと福山を心から愛する熱い思いが必要である。市民一人ひとりが参加できる市民とともに歩む行政を進め、将来にわたって発展し続ける都市「福山」を目指していく。まちづくりの礎は教育であり、明日の地域を担う子どもたちの環境づくりが重要である。また、生涯学習をはじめ、あらゆる場面や機会を通して人づくりを進め、さまざまな分野で活躍できる人材を送り出していかなければならないと考えている。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意思として、その実現に向け、国会および関係省庁に送付しました。詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

- ◆地方財政の充実強化を求める意見書
- ◆教育予算の拡充を求める意見書

問 インターネットへの悪質な書き込みなどには、法的規制が必要ではないか。犯罪に巻き込まれる危険性から子どもを守るため、子どもが使う携帯電話の契約時に、フィルタリングを義務づけることが必要では。

インターネット社会の弊害 (市民連合)

答 駅前整備は、誰もが安心して安全で快適に利用できる環境を整える中で、魅力ある都市空間の創出を図っていく。架橋事業は、町が抱えるさまざまな課題の抜本的改善を図るものであり、生活の中に歴史・文化が息づく「迎賓都市」の創造を目指し、保存事業の推進など総合的に進めていく。

年齢社会を迎えてその重要性が増している。早期ににぎわい創出の実現を望むが考えは。また、鞆の架橋については、早期の埋立免許を願っている。この問題は大多数が表面的なことだけで判断されており、内容をしっかりと市民に知らせ、理解を求める必要があると思うが考えは。

※フィルタリング：子どもたちに悪影響を及ぼしそうな有害サイトを、パソコンや携帯電話から見られなくする機能を持ったソフトウェアやサービス。